



OneTeam

わたしたちが目指すのは お客様とワンチームでものづくりができる 検査機関です

製品開発、製品販売の過程において評価は必要不可欠です。単なる検査機関としてではなくお客様と目的を共有しながら進んでいける、それがわたしたちが考える「ワンチーム」です。

新たな価値を 共に創るパートナー 評価技術センター

大和化学工業株式会社 評価技術センター

サービス一覧

抗菌試験

- ☞ JIS Z 2801 抗菌加工製品 - 抗菌性試験方法・抗菌効果
- ☞ JIS L 1902 繊維製品の抗菌性試験方法及び効果
 - ・日衛連が定める抗菌性能試験方法

防かび試験

- ☞ JIS Z 2911 かび抵抗性試験方法
- ☞ JIS A 6922 壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤

抗ウイルス試験

- ・ISO 21702 プラスチック及びその他の非多孔質表面の抗ウイルス活性の測定
- ・JIS L 1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法

除菌試験

- ・日衛連が定めるウェットワイパー類の除菌性能試験

防虫試験

- ・JIS L 1920 繊維製品の防ダニ性能試験方法(侵入阻止法、ガラス管A法)
- ・ダニ誘引試験
- ・蚊忌避試験(腕巻き法、吸血誘引法、強制接触法)
- ・衣類害虫食害忌避試験

防炎試験

- ・ISO 5660 コーンカロリメータ C4、UL94V-0 他、45 度マイクロバーナー法他

その他

- ・ISO 4333 繊維製品上の花粉、ダニ由来タンパク質などの減少度測定方法
- ・SEKマーク繊維製品認証基準に基づく消臭性試験(検知管法、GC 法)



…JNLA 標章付 試験証明書の発行が可能

大和化学工業(株) 評価技術センター

〒533-0006
大阪府大阪市東淀川区上新庄 3-1-11
<http://www.daiwa-kagaku.com/about.html>



事業所



大阪試験所
〒533-0006
大阪府大阪市東淀川区上新庄 3-1-11



東京試験所
〒132-0021
東京都江戸川区中央 4-17-19

As a partner
to create new value together

評価を通じてモノづくりをサポートします

評価技術センターは機密性・公正性・公平性をもったJNLA※登録試験事業者です。2009年12月17日に試験事業者として登録（登録番号 090289JP）され、第三者検査機関として活動しています。メーカーとして長年培った評価技術をもって、お客様の課題解決に取り組みます。

※ JNLAとはNITE(独立行政法人製品評価技術基盤機構)認定プログラムによる産業標準化法(JIS法)に基づく試験事業者登録制度です。

1 スムーズな製品開発を支援

評価用の検体づくりや結果に関するアドバイスを行うなど、お客さまの目指す成果に向けて、評価を通じて製品開発をサポートします。



2 要望に沿った評価方法の提案

「どんな評価をすればよいかわからない」など、お悩みを伺いながら、お客さまだけのオリジナル評価方法を確立します。お客さまのニーズに対し、最適な評価方法をご提案します。



3 予算に応じて評価をカスタマイズ

ご希望の予算をお聞かせください。ご提示いただいた予算の範囲内で段階的な試験計画やスクリーニングの繰り返し数を考慮するなど評価条件をカスタマイズします。



メールでのお問い合わせ
hyouka_pt@daiwakagaku.co.jp

お電話でのお問い合わせ
TEL:06-6328-0500

評価技術センターは顧客に関わる一切の情報を大和化学工業(株)及び第三者に開示又は漏洩いたしません。

SEK・SIAA・JHPIAマーク指定検査機関 (2024年12月時点)

SEKマーク 一般社団法人 繊維評価技術協議会

抗菌防臭加工
黄色ぶどう球菌

制菌加工(一般用途)
黄色ぶどう球菌 肺炎桿菌
大腸菌 緑膿菌
モラクセラ菌

制菌加工(特定用途)
黄色ぶどう球菌 肺炎桿菌
MRSA 大腸菌 緑膿菌
モラクセラ菌

抗ウイルス加工 Good effect
インフルエンザウイルス
ネコカリシウイルス

抗ウイルス加工 Excellent effect
インフルエンザウイルス
ネコカリシウイルス

...オプション菌

SIAAマーク 一般社団法人 抗菌製品技術協議会

抗菌加工
黄色ぶどう球菌 大腸菌

防カビ加工
JIS Z 2911に規定されるカビ

抗ウイルス加工

JHPIAマーク 一般社団法人 日本衛生材料工業連合会

抗菌マーク
黄色ぶどう球菌 大腸菌

除菌マーク
黄色ぶどう球菌 大腸菌

その他のマークについてはお問い合わせください

依頼の流れ

STEP 1 お問い合わせ・ご相談

お電話またはメールにて、試験内容、費用、納期に関してご相談を承ります。お気軽にお問い合わせください。

STEP 2 お申し込み方法

試験依頼書をメールにてお届けしますので、必要事項をご記入の上、評価技術センターへお送りください。HPから直接ダウンロードすることも可能です。

STEP 3 受付完了

試験依頼書内容を確認後、受付を完了します。試験試料に依頼書を同梱し納品ください。

STEP 4 試験開始

試験試料到着後、お申し込みいただいた内容で試験を開始いたします。ご報告までしばらくお待ちください。

STEP 5 ご報告

試験終了後、試験結果の速報をメールでご報告します。報告書原本は請求書、納品書と一緒に郵送いたします。

STEP 6 お支払い

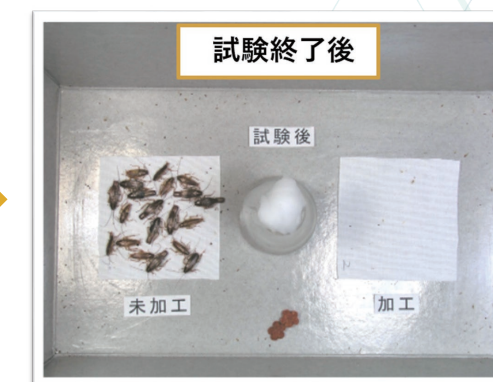
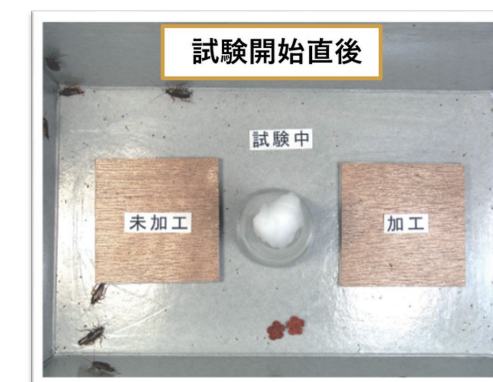
請求書が到着しましたら、到着した月の翌月末までに、請求書記載の指定口座にお振込み下さい。

評価一例 — One Team —

防虫 ゴキブリ忌避試験

試験試料 電化製品用部材 試験方法 オリジナル法

- 高さ20cm×横26cm×縦15cmの容器中に、試験試料を設置
- 試料の上にシェルター(ベニヤ板)を乗せ、5mmの隙間をつくる
- 容器にゴキブリ20匹を投入、24時間後にシェルター内に潜伏するゴキブリ数を測定し忌避効果を判定する



用途や素材により使用する虫や評価方法をご提案します



評価一例 — One Team —

防かび かび除去スプレー効果の可視化

お客様からのご相談: 自社開発かび脱色スプレーの効果をわかりやすく取引先に示したい

評価技術センターからのご提案: かびが脱色していく様子を時間経過ごとに記録し、かび除去スプレーの脱色効果を可視化

▶ 評価を開始
途中段階などフィードバックを繰り返しながら最適な結果の示し方をお客さまと共有しながら試行錯誤を繰り返し条件を確立

▶ かびを増殖させたシャーレにかび脱色スプレー噴霧後脱色していくまでの流れ (右画像)

- Aspergillus niger(クロコウジカビ)をシャーレに培養する
- 培養後のシャーレにスプレーを噴霧する
- 噴霧後1分経過
- 噴霧後5分経過

▼ かびを増殖させたシャーレにかび脱色スプレー噴霧後脱色していくまでの流れ



イメージ通りに結果の可視化ができ満足している。製品販売に活かしていきたい!

ご報告後のお客さまの声

スプレーがかかっていない左側はかびが脱色されないまま残っている